

CRAG

車両で、当時のCRAGはそれらをターゲットに据えた3ピース・オフロードホイールとして市場を席巻していたのだ。話を戻そう。そもそもサーキットやラリーなどのモータースポーツシーンで実績を積み重ね、そのノウハウを市販品に惜しみなく注ぐホイール創りをしてきたWORKにおいても、T-GRABICは相違ない逸品。ラリーやオフロードレース競技で蓄積されたデータをストリートホイールにフィードバックした、レース参戦マシンのシグネチャーモデルなのである。

そのデザイン上の特徴は、イン側とアウト側で開口部の数を变化させたディスク面によるダブルギアスポークデザインを採用していること。さらにリムデザインには立体的で力強いビードリング形態のリムフランジにはピアスポルトをあしらひ、よりリアルな雰囲気を漂わせる。このオフロードテイストに溢れたボトムスのインバクトは、トライトンをより一層タフ&ワイルドな印象へと誘ってくれる。

なおトライトンやハイラックスに対応するのは17インチワンサイズだが、カラーラインナップはマットカーボンカットリムと、アッシュドチタンカットリムの2色で展開。どんなボディーカラーにもマッチしつつ、しっかりと足元を主張してくれるから、力強く逞しいトライトンをさらに格上げできる。

## ビードリングとダブルギアスポークで魅せる 本格オフローダー垂涎のレース直系モデル



# CRAG

## T-GRABIC

15  
インチ

クラッグ・  
ティーグラビック

16  
インチ

17  
インチ

1 977年の創業以来、ドレスタップ&カスタムカールチャーにおいて数々のトレンドを生み出してきた日本の老舗ホイールメーカー「WORK(ワーク)」。レースシーンで採用されるリアルなコンペティションホイールでも高く支持されているが、ここで紹介する「CRAG T-GRABIC(クラッグ・ティーグラビック)」は、まさにその極みともいえる存在だ。

まずこのブランド名が、Cross over Racing Gear(=CRAG)を意味していることをご存知だっただろうか? これは文字通り、オフローダーの足もとを支えることを宣言している。またCRAGシリーズの歴史を辿ると、かつてSUVがRVと呼ばれるにまで遡る。その時代で人気を集めた車種はバンジェロやサーフ、テラノといった6H



●マットカーボンカットリム

●アッシュドチタンカットリム

SPECIFICATIONS ★=トライトンやハイラックス対応サイズ

CRAG T-GRABIC

SIZE	INSET	HOLE-P.C.D.	PRICE
15×5.0J	45	4H-100	¥39,600/本
16×5.5J	20	5H-139.7	¥42,900/本
16×7.0J	38	5H-114.3	¥46,200/本
17×8.0J★	20	6H-139.7	¥53,900/本

- カラー: マットカーボンカットリム (MGMRC)、アッシュドチタンカットリム (AHGRC)
- 構造: 鋳造1ピース (JWL/JWL-T規格適合) ※一部サイズを除く
- 付属品: エアバルブ、センターキャップ (16×5.5Jはセンターキャップ未付属)
- その他: 15×5.0Jはリムフランジより、ディスクが2mm突出します。

PHOTO●編集部 TEXT●編集部

## THE Bottoms!

## TRUCKIN' 6H-139.7 Wheels

お洒落も 性能も  
アシモト  
車輪  
から

●装着ホイール: ●装着ホイール: CRAG T-GRABIC (マットカーボンカットリム) / 17×8.0Jインセット20/6H-139.7

●装着タイヤ: TOYO TIRES OPEN COUNTRY R/T (265/65R17)

●MODEL CAR: トライトンGSR ●Special Thanks (撮影車両): 東日本三菱自動車販売 (<https://www.east-mitsubishi-motor-sales.com>)

アメリカンピックアップトラックにも引けを取らない押し出しの強さと風格を誇るトライトンにも、オフロードスタイルのティーグラビックはよく似合う。もちろんアグレッシブなトレッドパターンを持つオフロードタイヤとのマッチングも最高だ!今回装着したオープンカントリーR/Tはさらにホワイトレター仕様のタイヤだが、見た目の派手さはもちろん、オールラウンダーな性能もトライトンとの相性は抜群だ!



CRAG

●グリミットブラックカットリム

クラッグ・ティーグラビックツー

# CRAG T-GRABIC II



●アッシュドチタンカットリム

15  
インチ

16  
インチ

17  
インチ



サイズやカラーこそラリーマシン専用の別注仕様だが、高い耐久性と高剛性を実現するそのフォルムは市販品そのまま。ティーグラビックシリーズのホイールは、その根底にレーズ直系のDNAを持つことを証明した。



## タフ&ワイルドさを高める 立体的で独創的な造形美



ビードロック風のデザインをリムエンド部分に施し、さらにリム周辺部とディスク中央部で2つの歯車が組み合わさった独特なディスクデザインを持つティーグラビック。このディスク面はイン側とアウト側開口部数を変え、二重に重なる歯車のような独創的なデザインとなる「ダブルギアスポークデザイン」を採用。これらは単なる装飾ではなく、海外レースで培ったノウハウから生み出された形で、高い剛性と軽さを両立している。ちなみに、センター部はディープコーン化して軽量化。こうして可能な限り贅肉を削ぎ落とすことでアスリートの引き締まった肉体美に通じる立体的な機能美をも感じさせてくれる。嬉しい姿にカスタムしたいなら、ティーグラビックを選ばない理由はない。

ティーグラビックおよびティーグラビックIIの最大の特徴といえる部分が、1ピース構造を採用しつつも、本格的オフロード用ボトムスであるビードロックホイールを想起させるリムデザインにある。フランジのピアスボルトとビードロックリング風のリムエンドは、アップで見てもあたかも別体パーツのように感じられるように立体感を追求し、ティーグラビックのスタイルを印象づける。

## チーム三菱ラリーアートが参戦したAXCRの ラリートライトンの足もとに2年連続で採用



**W**ORK製のホイール、CRAGシリーズにおける最新のトピックが、8月にタイで開催されたアジアクロスカン トリーラリー2024に参戦したチーム三菱ラリーアートの4台のラリースベック・トライ トン（T1仕様II改造クロスカン トリー車種）の足もとに「CRAG T-GRABIC II（クラッグ・ティーグラビックツー）」が採用されていたことだ。

ちなみに同チームのチャイボ ン・ヨーター選手はレグ5まで 総合1位だったが、マシントラ ブルによって無念のリタイヤ ……。しかし日本人ドライバ ー・田口勝彦選手が総合5位 に入賞するなど、総走行距離 2075・54km、うち競技区間 939・58kmを走破したラリー スベック・トライトンを大きく サポートした。

ちなみに今回装着されていた T-GRABIC IIは基本的に は市販品スベックと同様だが、 LT235/80R17サイズのタ イヤに合わせて、別注サイズと なる17×7.0Jをセット。ま たカラーリングもブラックのス ベンシャルカラーとしていた。

写真左の製品版は、光沢を持たせてラウンドする曲線を描くビードロックホイールのような形態を造り込んだリムフランジがアイデンティティとなる。特にこのティーグラビックIIのビードリング形態は、別体式には見えないほどの立体感を誇る。もちろん単なる見映えだけでなく、ラウンドアウターフランジ形状とすることでフランジの強度や剛性アップも図り、走行中の飛び石の直撃を避けやすくする効果も獲得。アウトサイドスポーク付け根のリングから座面までの高低差も強く、一層コンケイブ感が際立ち、また外輪の開口部の広さは、細かな石などを詰まりにくくするためと軽量化に配慮したゆえ。さらに特徴的なインサイドスポーク形状の開口部も広くしてディンプルを設定し、高い耐久性と高剛性を実現している。

SPECIFICATIONS ★=トライトンやハイラックス対応サイズ

CRAG T-GRABIC II			PRICE	
SIZE	INSET	HOLE-P.C.D.	AHGRCカラー	GTKRCカラー
15×5.0J	45	4H-100	¥39,600/本	¥44,000/本
16×5.5J	20/±0	5H-139.7	¥42,900/本	¥47,300/本
16×6.5J	38	6H-139.7	¥45,100/本	¥49,500/本
16×7.0J	38	5H-114.3	¥46,200/本	¥50,600/本
17×8.0J★	20	6H-139.7	¥53,900/本	¥58,300/本

- カラー：アッシュドチタンカットリム (AHGRC)、グリミットブラックカットリム (GTKRC) ※装着写真はスペシャルカラー
- 構造：鍛造1ピース (JWL/JWL-T規格適合) ※一部サイズを除く
- 付属品：エアバルブ、センターキャップ (16×5.5Jはセンターキャップ未付属)
- その他：15×5.0Jはリムフランジより、ディスクが2mm突出します。